

平成21年6月17日、公明党市議団を代表し、①地域防災活動の充実強化、②市民によくわかる行財政改革、③市民に身近な壁面緑化の促進の3点について一般質問を行いました。



《地域防災活動の充実強化》

尾花質問要旨)

- 災害時要援護者（寝たきりの高齢者、障がい者等）」の対策を強化すべきではないか？
- 避難場所である公民館や小中学校体育館の防災機能を充実すべきではないか？
- 災害時要援護者の住宅用火災警報器の計画的設置に取り組むべきではないか？

行政答弁要旨)

- 災害時要援護者ハンドブックを作成し自主防災リーダー研修会や出前講座等に活用し災害時要援護者対策の充実強化に努める。
- 公民館や小中学校体育館において、停電時でも入口に明かりを確保し、避難者を誘導する太陽光・風力発電装置付き照明灯の導入を検討する。
- 災害時要援護者の住宅用火災警報器の設置については、緊急通報システムの見直しの中で取り組みを検討する。

《市民によくわかる行財政改革》

尾花質問要旨)

- 各局の経費節減等の行政改革を促進させるため、財政局から各局への予算配分方法の更なる改革を行ってはどうか？

- 行財政改革の取り組みが市民福祉の向上に直結していることを、市民にわかりやすく説明できるように、「市民福祉向上基金」の創設を行ってはどうか？

行政答弁要旨)

- 行革推進予算制度の創設（事業費の削減など財政的効果が認められる取り組みに財源を優先的に配分する仕組みなど）に向けて検討を進めていく。
- 「市民福祉向上基金」の創設に向けて課題の整理などを含め検討を行っていく。

《市民に身近な壁面緑化の促進》

尾花質問要旨)

- 公民館などの公共施設において、太陽光・小型風力発電などの新エネルギー設備導入の促進とともに、ゴーヤなどの食用となる植物を中心に壁面緑化を図ってはどうか？

行政答弁要旨)

- 公民館については、太陽光発電を優先的に導入していく。小型風力発電については、展開の可能性について検討する。
- 壁面緑化の取り組みについては、全市的な拡大を図る中で、ゴーヤなどの食用となる植物も活用して実施していく。



【兵庫県尼崎市の壁面緑化を調査】